

コロナ 時代の 新常識

令和4年 6/9(木) - 7/28(木) [毎週木曜日] 18:30~20:00

[受講料] 全8回受講...4,000円/特定の回のみ受講...1回1,500円

オンライン配信

※PC、タブレット、スマートフォンなど動画を視聴できる端末と回線が必要です。

募集定員
200名

第1回	6/9(木)	コロナ禍とその後の世界 —経済からの展望— 理事・副学長 吉見 宏
第2回	6/16(木)	新型コロナの唾液検査の 開発秘話から読み解く新型コロナの今後 医学研究院 教授 豊嶋 崇徳
第3回	6/23(木)	心理学から見た マスク生活でのコミュニケーション 文学研究院 教授 河原純一郎
第4回	6/30(木)	下水疫学に基づく 新型コロナ流行実態の把握 工学研究院 准教授 北島 正章

第5回	7/7(木)	ナノテクが薬を変える!? 薬学研究院 助教 中村 孝司
第6回	7/14(木)	新型コロナ治療薬の開発: 北大創薬センターの取り組み 薬学研究院 教授 前仲 勝実
第7回	7/21(木)	シニアの気持ちと活動: コロナ禍を経験して見えてきたこと 保健科学研究院 准教授 平野美千代
第8回	7/28(木)	新型コロナウイルスとナッジ政策 経済学研究院 教授 橋本 努

申し込み方法

- ①北海道大学公開講座(全学企画) ホームページにアクセス
【<https://www.high.hokudai.ac.jp>】もしくは【右記のQRコード】
- ②申し込み方法、支払い方法の説明にそって、リンク先(外部サイト)にアクセスして申し込み

申し込み期間

5/11(水)~5/31(火) ※左記期間内に申し込み・支払いを完了してください。

問い合わせ

国立大学法人北海道大学学務部学務企画課総務担当
メールアドレス suishin@academic.hokudai.ac.jp



コロナ時代の新常識

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、経済や社会に多大な影響を与え、わたしたちの日常生活や価値観を劇的に変化させました。今後、いかなる形でパンデミックが収束をみるとしても、これまでに起きた変化には不可逆的と思われるものが多く、さまざまな分野で新たな「常識」が生まれている状況です。本講座では、新型コロナウイルス感染症の影響について最新の研究をもとに幅広く理解するとともに、ワクチンや治療薬をはじめとする新型コロナの予防や治療に関する研究開発の最前線についても学びます。

第1回 6月9日(木)

コロナ禍とその後の世界 —経済からの展望—

世界では、すでにコロナ禍前の世界に戻ろうとする動きも顕著です。コロナ後には、本当に以前の世界に戻のでしょうか。戻らないとすれば、どのような世界、日本、北海道が求められるのでしょうか。この講義では、その展望を経済の視点から探ります。

理事・副学長 **吉見 宏**

北海道大学理事・副学長。博士（経営学）。専門は会計学・監査論。1991年から北海道大学経済学部講師、助教授、大学院経済学研究科助教授、教授、研究科長・学部長、副学長などを歴任。2020年10月から現職を務め、財務、広報、社会連携等を担当。HBCなどメディア出演多数。



第2回 6月16日(木)

新型コロナの唾液検査の開発秘話から読み解く新型コロナの今後

新型コロナの診断には当初、鼻咽頭ぬぐい液検査が必要でPCR検査が普及しませんでした。そんな中、北大病院を受診した患者が、誤って提出された唾液で陽性と判定されました。この偶発の発見から想像を絶する苦難を乗り越え、唾液検査の開発に至った経緯をご紹介しますとともに、新型コロナの今後を読み解きます。

医学研究院 教授 **豊嶋 崇徳**

1980年鳥取県立米子高等学校卒業、1986年九州大学医学部卒業。1997年米国ダナ・ファーマー癌研究所、2002年岡山大学第二内科 助手、2004年九州大学病院遺伝子・細胞療法部 准教授を経て、2012年から北海道大学大学院医学研究院 血液内科学教室 教授。



第3回 6月23日(木)

心理学から見たマスク生活でのコミュニケーション

コロナ時代の最も代表的な「新常識」の一つは、日常的なマスク着用の習慣でしょう。マスクが顔の印象に与える影響について心理学の観点から研究した結果、わかったことをご紹介します、マスク生活のもとでのコミュニケーションの変化について考えます。

文学研究院 教授 **河原 純一郎**

2003年広島大学大学院教育学研究科助教授、2006年産業技術総合研究所人間福祉工学研究部門主任研究員、2012年中京大学心理学部教授を経て、2017年から北海道大学大学院文学研究院 教授。専門は認知行動科学。魅力や疲労・ストレスに焦点を当てた研究を行っている。



第4回 6月30日(木)

下水疫学に基づく新型コロナ流行実態の把握

下水中のウイルスを検出することで集団レベルの感染流行状況を把握する「下水疫学」は、新たな学問分野として認知されてきています。本講義では、下水疫学に関する基礎知識と技術開発・実用化の現状について概説します。

工学研究院 准教授 **北島 正章**

2006年東京大学工学部都市工学科都市環境工学コース卒業、2008年同大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了、2011年同専攻博士課程修了、博士（工学）取得。2011年日本学術振興会海外特別研究員（アリゾナ大学）、2014年Singapore-MIT Alliance for Research and Technology 博士研究員、2016年北海道大学大学院工学研究院環境創生工学部門助教を経て、2021年から現職。



第5回 7月7日(木)

ナノテクが薬を変える！？

新型コロナウイルスのワクチンには、最新のナノテクを駆使したナノサイズの粒子が使われています。ナノテクがどのように薬の開発に貢献できるのか？薬の未来を一緒に考えましょう。

薬学研究院 助教 **中村 孝司**

北海道大学薬学部卒業、同大学大学院生命科学院博士後期課程修了。博士（生命科学）。北海道大学大学院薬学研究院博士研究員を経て2011年より現職。専門は薬物送達学および腫瘍免疫学。ナノサイズの粒子を用いて免疫応答の制御、がん免疫療法開発、ワクチン開発などに取り組んでいる。



第6回 7月14日(木)

新型コロナ治療薬の開発：北大創薬センターの取り組み

新型コロナウイルス感染症に対して、ワクチン接種が感染と重症化の抑制に大きな効果をもたらしています。他方、感染した場合には治療薬が必要であり、中和抗体から経口薬等の低分子化合物の開発が全世界的に取り組まれています。新型コロナ治療薬開発の概略と北大創薬センターの取り組みを紹介します。

薬学研究院 教授 **前仲 勝美**

1991年東京大学工学部卒業、1996年同大学院工学系研究科修了。日本学術振興会特別研究員、HFSP長期博士研究員（University of Oxford）、国立遺伝学研究所助手、九州大学生体防御医学研究所助教授を経て、2010年より北海道大学大学院薬学研究院教授。同大創薬科学研究教育センター長、国際連携研究教育局バイオサーフィス創薬グローバルステーション長。



第7回 7月21日(木)

シニアの気持ちと活動：コロナ禍を経験して見えてきたこと

新型コロナウイルス感染症は国民の心身の健康、生活に大きな影響を与えました。コロナ禍で高齢者がどのように過ごしてきたのか、先行研究等の調査結果を紐解きながら、今後、健康で生活するための「秘訣」を一緒に考えてみましょう。

保健科学研究院 准教授 **平野美千代**

首都大学東京大学院（現・東京都立大学大学院）修了。博士（看護学）。北海道立保健所保健師、北海道大学大学院保健科学研究科助教授等を経て2013年より現職。専門は公衆衛生看護学。地域住民や関係機関の関係者とともに、高齢者の社会活動に関する実践的な研究を行っている。



第8回 7月28日(木)

新型コロナウイルスとナッジ政策

新型コロナウイルスの感染拡大を抑止するためには、行動スタイルの大きな変容が必要です。ナッジ政策は、人々の理性に負担をかけずにその変容を促す仕掛けですが、問題もはらんでいます。その是非について検討します。

経済学研究院 教授 **橋本 努**

1967年生まれ。横浜国立大学経済学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科、博士号（学術）取得。シノドス国際社会行動研究所所長。専門は社会経済学、社会哲学。主な著書に「自由原理」（岩波書店）、「帝国の条件」（弘文堂）、「社会科学の人間学」（勁草書房）など。

